

ラグビー藤沢 39号

発行者 総合型地域スポーツクラブ (SSC)
(特非) 藤沢ラグビー蹴球倶楽部

発行責任者 川原

〒251-0046

藤沢市辻堂西海岸2丁目1番15号

(倶楽部ハウス)



藤沢

奪還!



第48期加藤組秋季大会優勝

神奈川県ジュニアラグビー秋季大会Aカテゴリ-最終戦に勝利し全勝で第48期加藤組
今大会優勝です！4年ぶりの奪還、みごとでした。おめでとう！





Congratulations!





藤沢ラグビースクール

ラグビースクール ミルキー

『2023年上期ミルキークラス活動報告』

副校長 平原義之

☆4月2日（日）海浜公園大芝生グラウンドで入校式を行ない新年度がスタートしました。5月連休明け新型コロナの5類へ移行に伴い、スクール活動もコロナ前の状態に戻って参りました。

ミルキーの子どもたちは徐々に増えて7月上旬終了時には62名。

2019年ラグビーW杯後に入校希望の子どもたちがグラウンドに押し寄せた頃には及びません。

ラグビーW杯はリクルートの面からその波及効果は大きく、2023年フランス大会も日本代表の検討に加え、熱い接戦が続いた素晴らしい大会でした。

楯円球をもった元気な子供達が集まってくれることを期待しています。

☆さてミルキーの活動の場は主に大芝生ですが、1年生と幼児クラスは月1回NOK様の湘南闘登センター内の施設を利用して頂いています。練習グラウンド確保が厳しい中で大変有難く感謝しております。

☆『ラグビーって楽しいな!!』と思ってもらうことがミルキーの活動目標です。合わせて『ミルキー応援団』という保護者の方々が活躍する場もスクールは用意しています。お子さんとご一緒に“スクールデビュー”を果たしてみませんか。

年少さん、年中さん、年長さん



皆様こんにちは！ HCのターちゃんこと高嶋と申します。

日頃より幼児クラスの活動にご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年度前期の活動報告をさせていただきます。『明るく、楽しく、元気よく』をモットーに、ラグビーの基礎となる動きを中心に練習してまいりました。

前期の集大成としまして、大和キンダーカップのお話をいたします。この大会は県内から多くのスクールが参加するいわば幼児の県大会です。年長のための大会ですが、藤沢の年長は人数が少ないので、年中も交えて2チーム編成で挑みました。一生懸命に走り、ミスをしたら悔しがり、仲間同士で助け合う、そんな姿に成長を感じました。結果はブロック優勝です！ほとんどのチームが年長のみでの参加の中、見事な勝利です！さらに感動の出来事を紹介させてください。転んで泣いていた相手チームの選手を、わが藤沢の選手が抱き上げて励ましたんです。身体は小さくても立派なラグーマン精神を持った子供達を誇りに思いました。

後期の目標は、子供達がさらにラグビーを好きになる環境を構築し、子供達、父母、指導員全員でラグビーを楽しみ、湘南カップを全員で優勝することです！

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

小学1年生

テーマパークに来る感覚

小学1年生 HC 山口高史

日頃より小学1年生クラスの指導につきまして、第56期の父母ならびに各方面関係者の皆さまには、様々な場面で運営にご協力いただき感謝いたします。今年度ヘッドコーチの山Pです。

さて、このクラスの通年における指導テーマは「日曜日はラグビーのテーマパーク」です。幼稚園から小学校に進級した生徒がいかにラグビーに興味を持って楽しめるか？生徒たちがテーマパークに遊びに来る感覚でスクールに接してほしいと思いこのテーマとしました。上期の練習を通して様々な角度からラグビーへの興味を持ち、全身で表現する生徒たちを見ますと、成長の証が感じ取ることができます。2023年ラグビーW杯でラグビー日本代表への応援も盛り上がりがありますが、藤ラグ第56期の盛り上がりも負けておりません！下期も是非みなさん頑張りましょう！これからもどうぞよろしくお願いいたします。

小学2年生

小学2年生前期の活動

小学2年生担当大貫です
小学2年生では、今後に向けた基礎を行ってきました。
コンタクトプレーに向けた、基本姿勢や受身。
練習は何のためにするの？

⇒常に試合中のプレーを頭に思い浮かべながら練習に参加する意識づけ。
例えば、テストマッチを観戦し、真似してみたいプレーの練習等。
これから先ラグビーを続けていくうえで必要な、
体の使い方や練習への取り組み姿勢を行ってきました。
後期はこれらを、意識せず、自然にできるよう繰り返していきます。

ラグビースクール ミニ

2023年度前期のミニカテゴリは、4月の入校式に始まり、5月の2都県交流大会、6月の春季交流戦、恒例の静岡ブルーレヴズとの交流戦、7月の久しぶりの秋田エコーとの交流戦、8月には久しぶりに4学年そろっての夏合宿、そして9月には藤沢市民大会と、充実した活動をして参りました。それぞれの活動において、ミニ内外の指導員ならびに保護者の方々に多くの支援を頂きました。ありがとうございました。

これらの活動および毎週の練習を通してラグビーの楽しさを知り、力をつけて来たミニの選手たちは、これから秋の県大会に向かいます。その持てる力を存分に発揮して、試合を楽しんでくれる事と思います。

副校長 荒木

秋田エコー少年ラグビークラブ来藤



小学3年生

54期3年生にとって初めてのコンタクトラグビーがスタートする一年です。コンタクトを体験する子供達の中にはコンタクトが苦手な子供も沢山います。毎回の練習でコーチ一丸となり、楽しくコンタクトを体験してもらえる様に進めて来た結果、夏合宿頃には果敢にタックルする姿が見れる様になって来ました。秋の大会は子供達にとって、春から楽しく頑張ってきた成果を表現するための機会です。良い大会となると信じています。これからも、子供達が楽しくラグビーをプレー出来る様に、子供達、保護者の皆さま、コーチが一丸となって歩んで行きたいと思えます。

54期ONE TEAM

小3HC神田

小学4年生



今年FRFC53期小学4年生を担当し、半年近くが経ちました。
今年受け持つ53期は生徒数が45人前後、練習も常に40人近く参加する大所帯の代です。

練習時は6チームに分け、練習メニューもいろいろなスキルトレーニングをローテーションで回しながら、常にボールを触ってる環境を作りたく取り組んで来ました。

そのために、指導員の仲間ともどのようなトレーニングを取り組んでいくかの共有をしながら、手分けして生徒への指導に取り組んで来ました。また、役員さんを中心に父母にも練習を回していく際、ピブスの管理、時間管理も含めサポートをしていただきました。

そのような環境のなか、夏合宿も経ていよいよ後期の大イベント、県大会が間近に迫ってきました。

県大会は5チームエントリーしました。そして各チーム、生徒たち自らチームキャプテンの選出、そして県大会に向けてのチーム目標を立て指導員・父母に対して意思表示を行いました。

後期の目標としては、各チームがたてた目標に対して、練習含めどう取り組んでいくか、目標達成に向けてどれだけ努力をしていくか、そこに尽きると思います。

そのために指導員、父母一丸となって、生徒たちのサポートを引き続き行っていきたいと考えています。

是非、彼らの活躍を藤沢ラグビースクールとして、見届けてあげられればと思います。

小4 HC 堀口

小学5年生

徐々に元の活動に戻り始めた今年の春。52期、小5はスタートを切りました。

小3から小4にかけて制限の多い時期を過ごし、多分少し物足りなさを感じていたかもしれません。

そんな状況を考えて、我々コーチ陣も選手には思い切りラグビーをしてもらい、楽しさを沢山知ってもらおうと話をして始まりました。

小5から始まる9人制ラグビーは7人制と比べると、ラグビーとしての基本の動きや理解が必要です。選手には基本をしっかり身に付けてもらい、そして自分で考える力を身に付けられるような練習を考えて行っています。

今年のチームの目標は「自分の役割を果たす」でしたね。

後半に始まる県大会の出場は3チーム。「チーフス」、「ブランビーズ」、「ハリケーンズ」

それぞれ特色のあるチームが出来ました。

県大会では自分たちの力を発揮してもらい、チームの目標、そしてそれぞれの目標が達成できるように頑張ってください。

小5HC 青木

小学6年生

生徒達に心掛けて伝えてきたことは「整理整頓」「挨拶」「自分が頑張る」「皆で頑張る」を意識することです。

完璧ではなくても、それぞれが自分なりに理解して、行動してくれていると感じています。

これから小学6年生の後期に入りますが、その集大成として、技術面の強化・振り返りをしっかり行い、共に成長し、全員で目標に向かえるチームをイメージしています。

良い結果が出せるよう生徒自身はもちろん、コーチ・役員・父母の皆様とも一丸となって頑張りたいと思いますので応援宜しくお願い致します!!

小6HC 濱田



静岡ブルーレヴズラグビースクールを藤沢にお迎えし交流会を開催しました

ジュニア（中学生）



ジュニア活動報告

ジュニアの今期のテーマは「Forward&Choice」です。ラグビーのプレーで一番大事な前に出る(Forward)、自分たちで考え選択をする(Choice)をコンセプトにしスタートしました。

- 5/3～5/5山中湖合宿…コロナが終息し久しぶりに3学年で実施する事ができ、春季大会に向けてのチームカアップにつながる合宿になりました。
- 4/初旬～5/中旬 春季大会 Aチーム準優勝
- 7/21～7/23菅平合宿…3年生は菅平ジャンボリーに参加、1, 2年生は、たくさんの県外チームとの練習試合を行い、春からの練習成果を発揮し秋に向けて課題を見つける事の出来た実りある合宿でした。
- 8/19～8/20山梨合宿…山梨学院高校の寮とグラウンドをお借りして合宿を行いました。3年生のみではありましたが高校生と試合をしたり、ブドウ狩りを楽しんだりとスクール最後の合宿を満喫してきました。

3年生は10月でスクールの活動が一先ず終わります。これから始まる秋季待機で苦楽を共にした仲間と共に全力を尽くし、最高の成績で終える事を確信しております。
(優勝しました!)

スクールジュニア監督 齋藤 大

湘南プレイボーイズ



トップチームである湘南プレイボーズは、新調したジャージーを身にまとい、神奈川県春季大会トップクラブブロックに参戦し、2年ぶりに東日本クラブ選手権大会の出場権を獲得しました。春季大会の戦績は、初戦はクラブラグビーで何度も全国制覇している強豪「タマリバクラブ」と対戦し、102点を取られる大敗。

2戦目の「タイセイハウジーレッズ」とは30点以上の大差による敗戦。2試合とも、仕事等でメンバーが十分に集まらずリザーブなしだったり、負傷による交代フロントローがないため、14人で試合を継続するなどの不利な状況が発生。均衡の取れた前半に比べ、後半一気に失点が重なり、大敗に繋がってしまいました。このあたりが、湘南プレイボーズのここ数年抱えている最大の課題です。

東日本トップクラブリーグ（TCL）においてもライバルである「ブルシャークス」との最終戦は、リザーブに入れられないメンバーが出るくらいにメンバーが沢山集まり、倶楽部からスタッフのサポートをいただくなど、チーム体制を整えて挑み、東日本大会出場権を掛けた戦いにおいて勝利をつかみ取ることができました。1勝2敗でトップクラブブロックの3位ながら、1位タマリバクラブと2位タイセイハウジーレッズは、直接クラブラグビー全国選手権大会の枠にチャレンジできるというレギュレーションにより、荣誉ある神奈川県第1代表としての出場となりました。多くの皆様のご声援を頂ければ幸いです。

東日本クラブ選手権は、9月10日に熊谷ラグビー場で行われる高麗クラブ（東京代表）との1回戦を皮切りにして首都圏代表を目指します。さらに東日本代表枠を争い、最終的に西日本を含めたクラブ日本一までつながる大会です。湘南プレイボーズは一つでも上位を目指して挑みます。

一方では、メンバーが動き盛りの世代でもあり、毎試合メンバー集めに苦勞しているのも実態です。改善を図るべく、リクルート活動の強化をしています。藤ラグOBをはじめ、皆様のお知り合いにラグビーに興味をお持ちの方がいればご紹介をお願いします。

湘南PB 高橋

6月4日 神奈川タマリバクラブ 3-102

6月18日 タイセイハウジーレッズ戦 5-41

7月2日 神奈川ブルシャークス戦 33-17

湘南プレイボーズの過去の試合動画は、youtubeチャンネルでご覧いただけます。

https://www.youtube.com/@shonan_pb_zacca_4641



6月24-25日、富津陸上競技場で行われた日本選手権、昨年秋の大会で不甲斐ない結果となった湘南は再度根本を見直し、優勝！日本一を勝ち取ることができました。

正直、他のチームも拮抗しどこが勝ち上がるか分からない面白い大会！

レフリー、対戦相手、運営各位に感謝です。

決勝の早稲田戦は過去一キツイ試合でした。DF固く、強い二人に振り回され、最後3分はディフェンスしまくった覚えしかありません。

喜寿超えの選手も決勝出場、ほんとに総力戦でした。

湘南GBでは、いつでも老若男女問わずメンバーを募集中です！連絡待ってます！

湘南GB 小林

【里菜子からのメール】

早川さん お元気ですか

8/11-12エコパ開催の大会に藤ラグOGが集まりました。

左から里菜子（アザレア）、加奈子（横河）、光里（アザレア）。

写真にはいませんが、愛実（四国大）も同じ大会に。

各地で頑張る仲間に出会えるのも大会の楽しみのひとつです！

りなこ

横山里菜子選手 所属：アザレア・セブン

久保光里選手

小林花奈子選手 所属：横河武蔵野アルテミス
エクセター・チーフス（英国）
* 15人制女子日本代表

27期 横山里菜子さん

38期 小林花奈子さん

38期 久保光里さん



～ クラブ通信 ～

ジャパンのWC惜敗を悔やんでいる時に 4年ぶりにジュニアの県制覇の朗報が飛び込んできました。

ジュニアの優勝は大変喜ばしいことです。 何よりスクール全体が元気になりますね。

情熱を持って指導されている全コーチの方、暖かいご支援を頂戴している父母会の皆様にあらためて感謝申し上げます。

さて本紙では 倶楽部の取り組みと進捗状況について ご紹介いたします。

1) グラウンド環境整備について

この2年間 善行の県立センターや 神戸製鋼所様 NOK湘南センター様での練習が出来る様になりましたが 善行は令和6年の推薦枠の獲得日が減少しています。

現在 湘南工科さんに1カ月前のグラウンド借用予定の提示をお願いし計画的な利用が出来るように、 また I-Parkの再借用へも動いています。

藤沢市唯一のポールが立つ球技場である秋葉台に関しては 市協会へ使用拡大をお願いするとともに必要であれば行政への働き掛けも厭わず進めて参りたいと考えています。

2) 子どもたちの成長に応じた 指導=パスウェイの構築について

クラブとして今夏からパスウェイの構築に取り組むことは既に周知しています。

クラブの設立趣意は ラグビーを通じた健全な子どもたちの育成です。

我々は、高校から始まる15人制フルラグビーの準備段階を請け負っていることを忘れては

なりません。育成は指導員が与えるドリルによって行われます。 ラグビーに必要な個人の基本プレイ 仲間とのユニットプレイをミルクキーからミニそしてJrへ向けて安全で有効的なドリルを積み上げることが最も大切です。 先ず現在のドリルを記録し、推進組織を11月に固めて検討を進めて行きます。

何よりコーチ間の話し合いが 原動力となります。 子どもが主役⇒その手段がパスウェイです。

3) 広報関連= クラブ 内 外 のコミュニケーションについて

引き続き ラグビー藤沢を4回/年発刊し色々な情報をクラブ内で共有するようにします。

HPについては 生徒や選手の入会希望者 協賛企業の社員 地域法人の方 そして

行政に向けて 倶楽部の活動を紹介発信するツールとして活用できるように

広報関係者を中心に掲載内容やフレームについて検討を進めています。



4) クラブハウス建替え検討について

今年度の総会で建て替えの検討を正式に進める事を承認頂きました。

今月から倶楽部三役(理事長 副理事長 常務理事)と役員経験者を中心に安価で丈夫な仕様やの検討を開始しています。 今後複数案をまとめ理事会で優先策を選択して参ります。 その内容は適時 皆さんへ紹介するように致します。

5) 協賛活動

NOK様からの協賛は8年継続してご支援頂いております。 今年からフィアンソロフィの扱いとなり 地元貢献の位置付けでNOK湘南センター様が窓口になりました。

湘南センター様にはテニスコートを無料でミルキーの練習に提供いただいています。

ご支援にお応えできるよう引き続き 子ども達のために地道に指導活動を進めましょう。

地元企業様へ寄付や協賛の依頼や OBや指導員、OB へも広く賛助会員を募って参りたいと考えています。

6) 役員新体制について

5月の改選総会において御承認頂いた役員体制をご紹介します。(敬称略)

理事 13名

早川 馬崎 木村 伊藤 久富 永淵 川原 大村 星名 高森 岸 高橋(PB) 小林(GB)

監事 2名 新信 清

職員 3名 佐藤 山口 野田

RSはクラブと一体です。 役員はRSの現場では解決できない環境整備を中心に引き続き諸作を講じて参ります。

以上 クラブの取り組みについてご報告します。

吾朗





NOK株式会社

NOKは、藤沢ラグビー蹴球倶楽部を応援しています。

オイルシール国内シェアNo.1のNOK株式会社

<http://www.nok.co.jp>